

# 2021 年度 個人研究実績・成果報告書

2022 年 4 月 2 日

所属	商経学部	職名	教授	氏名	師尾 晶子
研究課題	古代ギリシア史・東地中海史研究				
研究キーワード	古代ギリシア史、ペルシア戦争、記憶と記録、歴史叙述、若者教育	当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた		
関連するSDGs項目	4. 質の高い教育をみんなに	10. 人や国の不平等をなくそう	16. 平和と公正をすべての人に	該当なし	

## 1. 研究成果の概要

2021 年度も現地調査および資料調査のための渡航はかなわなかった。現地開催予定だった国際学会において 9 月および 10 月にオンラインにて報告をおこない、9 月の報告については国際査読誌に投稿して受理された。そのほか論文の執筆を中心に研究をすすめた。研究分担者として参加した 2 つの基盤研究 A の成果は、それぞれ共著の形で出版された。さらに共著 1 冊が初校の段階にある。研究課題とかかわる 2 冊の著作についての書評をそれぞれ査読誌に発表した。また、共著『はじめて学ぶ西洋古代史』（仮）（ミネルヴァ書房、2022 年 11 月出版予定）の原稿を提出した。査読付きの共著の出版に向けて、*Paroikoi at Rhamnous*（仮題）の執筆もすすめており、2022 年度 6 月には投稿予定である。また、『ギリシア金石文』第 1 巻（西洋古典叢書 [京都大学学術出版会]）の原稿引き渡しの準備を進めている。2022 年度後半には完成稿を引き渡す予定である。

## 2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

### 【論文（査読あり）】

師尾晶子「書評：Rosalind Thomas, *Polis Histories, Collective Memories and the Greek World*. Cambridge UP 2019」『西洋古典学研究』69、2022 年 3 月、147-149。

師尾晶子「書評：岸本廣大『古代ギリシアの連邦—ポリスを超えた共同体』京都大学学術出版会、2021 年」『西洋史学論集』59、2022 年 3 月、20-23。

Akiko Moroo, Keeping the Sacred Landscape Beautiful and Elaborate: Maintenance of Sanctuaries in Ancient Greece, *Journal of Ancient History and Archaeology* 2022 年掲載予定。

### 【著書・論文（査読なし）】

（共著）Y. Suto (ed.) *Transmission and Organization of Knowledge*, Wien 2021. ISBN 978-3-85161-260-8 (printed edition) ISBN 978-3-85161-261-5 (e-book). 収録論文：Akiko Moroo, Continuation and (Re)creation of Foundation Discourses in Lycia and their Historical Background, 261-274.

（共著）周藤芳幸編著『古代地中海世界と文化的記憶』山川出版社、2022 年 5 月刊行予定。収録論文：師尾晶子「記憶の継承の場としてのエフェベイア」260-284（予定）。

師尾晶子「「パルテノン」とアテナ女神聖財財務官の聖財記録をめぐる覚え書き——ファン・ロークハイゼン（J.van Rookhuijzen）の研究をめぐる」平成 30 年～令和 3 年度年度科学研究費補助金 基盤研究(A) 研究成果報告書『パルテノン彫刻研究—オリエント美術を背景とする再解釈の構築（18H03566）報告書』2022 年 3 月、88-97。

師尾晶子「疫病とオリンピック」MIRAI Times (社会の未来を育てるウェブメディア 千葉商科大学) 2021年6月17日、[https://www.cuc.ac.jp/om\\_miraitimes/column/u0h4tu0000002b2z.html](https://www.cuc.ac.jp/om_miraitimes/column/u0h4tu0000002b2z.html)

【学会発表等】

Akiko Moroo, Keeping the Sacred Landscape Beautiful and Elaborate: Maintenance of Sanctuaries in Ancient Greece, Panel: Sacred Landscapes in Archaeological Contexts, *2nd International Conference on Global Issues of Environment and Culture, 17-19 September 2021* (Sino-Hellenic Academic Project), Delphi, Greece (Zoom online, 18 September 2021).

Akiko Moroo, The Memory of the Persian Wars and Its Use for the Creation of the Collective “Greek” Identity, The 12th Korea-China-Japan Symposium on Ancient European History: War, Peace and Hegemony in Antiquity, 22-23 October 2021, Seoul, Korea (Zoom online, 22 October 2021).

3. 主な経費

学会費の支払い (史学会・歴史学研究会・西洋古典学会・地中海学会・古代ギリシア文化研究所・西洋史研究会・古代世界研究会・Society for the Promotion of Hellenic Studies)

研究に関連する書籍 (古代史および古典古代の受容に関する研究書など)

学術誌の購入 (*Hesperia*, *Chiron* など)

研究活動を補助する英文校正オンラインサービス、クラウドサービスのサブスクリプション  
オンライン研究環境・教育環境増強のためのPC周辺ケーブルなど

4. その他の特筆すべき事項 (表彰、研究資金の受入状況等)

【科学研究費】

基盤研究 C 2020-2023 年度 (研究代表者) ペルシア戦争の遺産に関する通時的総合的研究 (20K01060)

基盤研究 A 2018-2021 年度 (研究分担者) パルテノン彫刻研究ーオリエント美術を背景とする再解釈の構築 (18H03566)

基盤研究 A 2018-2022 年度 (研究分担者) 古代地中海世界における知の動態と文化的記憶 (18H03587)

【その他の活動】

公益財団法人 史学会 評議員 (2020年6月から)

西洋古典学会 常任委員・編集委員

地中海学会 常任委員・編集委員

古代世界研究会 委員

古代ギリシア文化研究所 役員 (会計)